

都政モニターアンケート結果概要

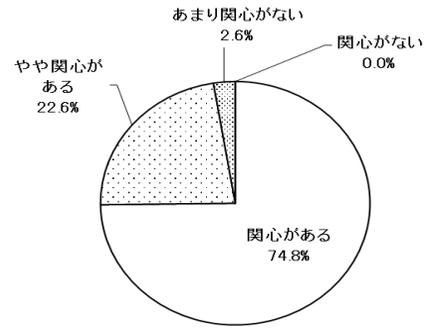
インターネット都政モニターアンケートとは、都内に居住する18歳以上の者からモニター500名を選定（応募者の中から、性別・年代・地域の人口構成比率を考慮して選定）し、インターネットアンケートを実施、都政の重要課題等に関する意見や要望等を迅速に把握し、今後の施策立案の参考とするために実施するアンケート調査

1 調査の概要

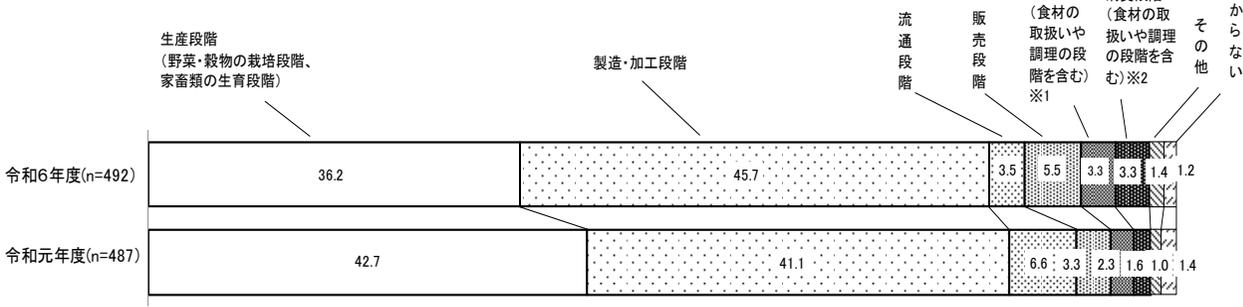
- (1) アンケートテーマ
「食品の安全性について」
- (2) アンケート目的
食品の安全や信頼性の確保をより一層推進していく施策づくりの参考とするため、食品の安全性に関する都民の意見を聞くため
- (3) アンケート期間
令和6年7月9日（火曜日）から7月17日（水曜日）まで
- (4) 回答者数
492人（98.4%）

2 結果概要

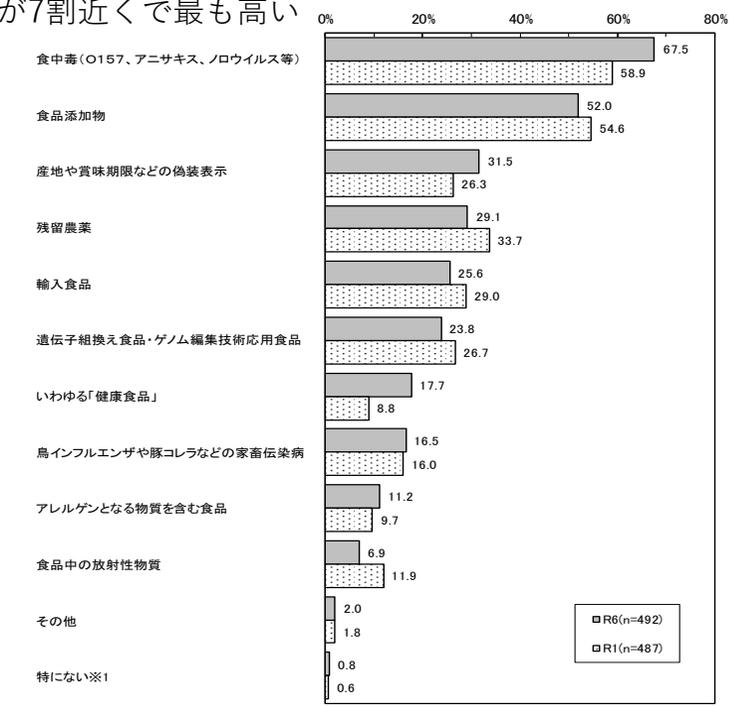
■ 食品の安全性に対する関心の有無
→ 「関心がある」は全数近く



■ 【食品の安全性確保のために重要と考える段階（令和元年度調査比較）】
→ 「製造・加工段階」が4割半ばで最も高い



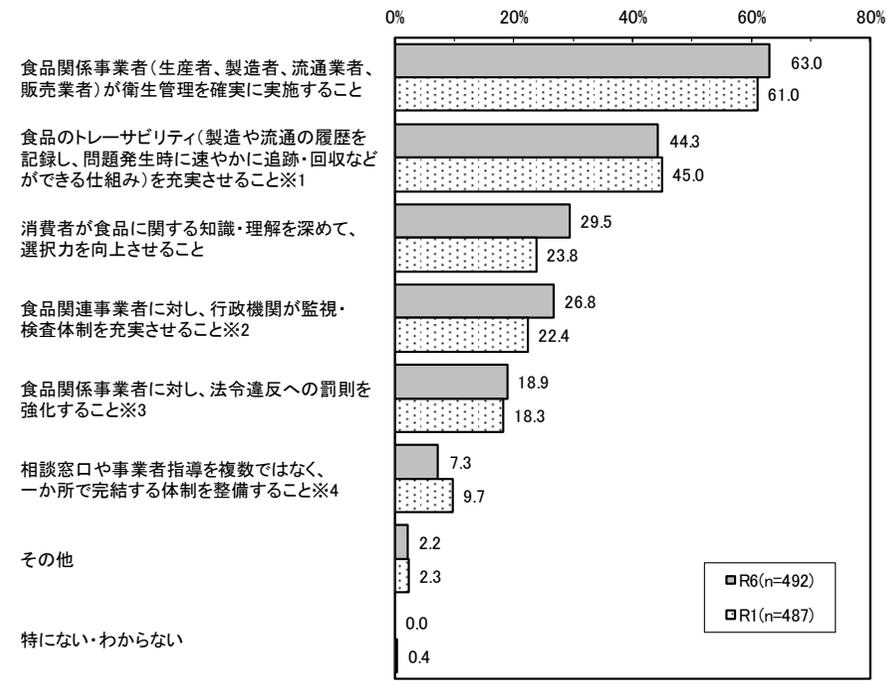
■ 食品の安全性について不安に思うこと（令和元年度調査比較）
→ 「食中毒（O157、アニサキス、ノロウイルス等）」が7割近くで最も高い



都政モニターアンケート結果概要

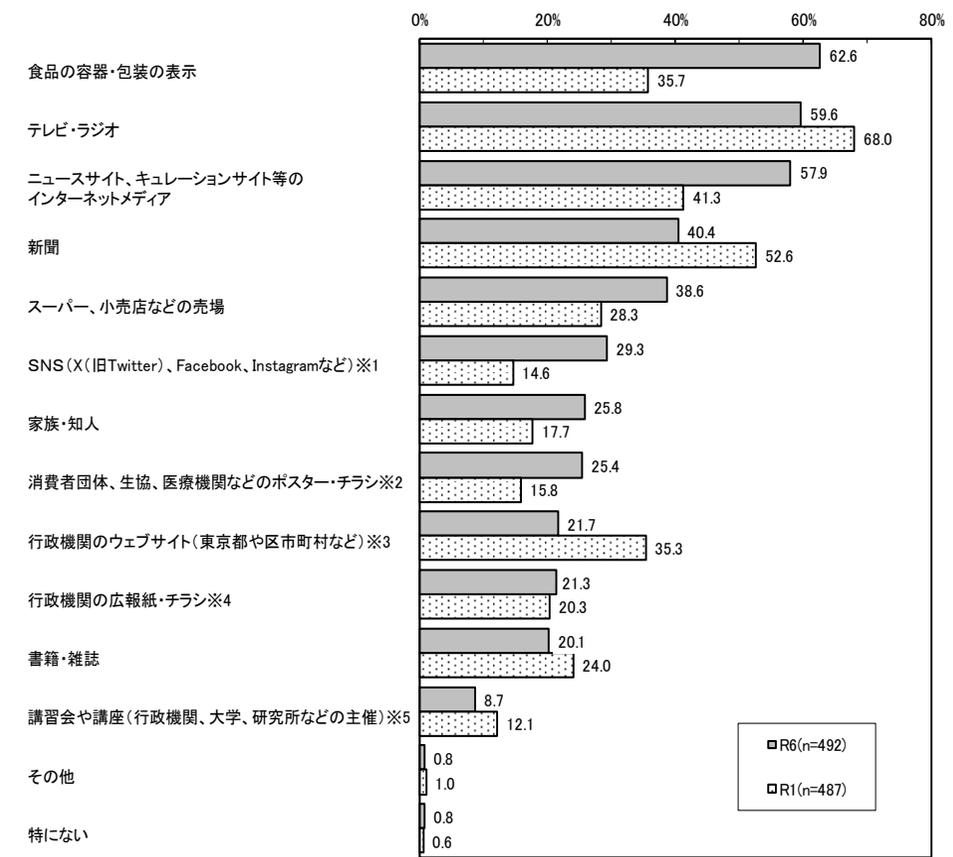
■食品の安全性を高めるために有効な対策（令和元年度調査比較）

→「食品関係事業者(生産者、製造者、流通業者、販売業者)が衛生管理を確実に実施すること」が6割を超えて最も高い

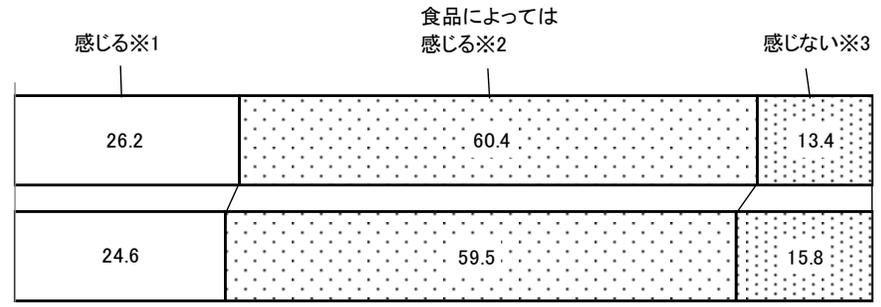


■食品の安全性に関する情報の情報源（令和元年度調査比較）

→「食品の容器・包装の表示」（62.6%）が6割を超えて最も高い



■食品表示がわかりにくいと感じることの有無（令和元年度調査比較）



※1 前は「よく感じる」で集計
 ※2 前は「食品によっては感じることもある」で集計
 ※3 前は「特に分かりにくいと感じることはない」で集計